

公民館では、子ども達に生きた英語にふれてもらうため、昨年度に引き続き『英語サマースクール』を実施いたします。

この事業は、アメリカ合衆国の大学生や学校の先生などが夏期休暇を利用して小野町に滞在し、主に幼児や小学生を対象にゲーム・歌をおして英会話を指導し、国際理解を深めることを目的として実施するものです。

今年は、デービッド・マイヤーズさん、フレドリック・アトキンスさん、スーザナ・アトキンスさんの3名が来町し、7・8月の2カ月間にわたり指導していただきます。

参加方法や開催日時などは、各小学校や幼児教育施設をおしお知らせいたします。

◆問い合わせ

小野町公民館

☎72-2125

こんにちはパトリアです

フレドリック・アトキンス

私は中学校で25年間教師をしています。生徒は12歳から14歳までです。生徒の出身国は20カ国以上で、それぞれの家庭では25の外国語が話されています。約1,100人の生徒と約60人の教職員がいます。1クラスの生徒数は約30人です。よく予習してくる生徒もいますが、予習しないで学校に来る生徒が多いです。

私は1967年にニューヨーク大学を卒業し、1975年にニューヨーク州立大学を卒業、そして1992年にフォルダム大学を卒業しました。

私と妻は、ニューヨーク市の出身です。22年前に結婚しました。私達は、宗教と教会を大切にしている、教会でたくさんの活動をしています。趣味はジグソーパズルやスキューバダイビング、ヨット、釣り、アウトドアなどです。読書と聖書の勉強も好きです。アメリカ西部のいろいろな州に住んだことがあります。例えば、カリフォルニア州、ネバダ州、ユタ州、アリゾナ州などです。15ヶ月間、帆船で生活し、太平洋とカリブ海を航海したこともあります。

スーザナ・アトキンス

私は、ニューヨーク大学の法学・商学部の調整者として10年間働いています。そこで、外国人の生徒の相談者として授業の選び方などを手伝っています。また、法学・商学部の主催しているイベント、例えば、上院議員の訪問や学生とニューヨーク市で働いている弁護士のふれあい昼食会などを計画し、担当しています。ニューヨーク大学で働く前は、司書の仕事と弁護士の補助の仕事をしていました。英文学の学士と人文科学の修士です。現在は社会福祉の修士になるために勉強していて、2007年5月に卒業する予定です。20年間にわたってキリスト教の教会で10代の少年と一緒にボランティア活動をしています。そして、社会福祉の学位が取得できたら、社会福祉指導員になり、家族を助ける仕事をしたいと思っています。また、1974年から1981年まで、雑誌の記者とテレビのアナウンサーとして、ニューヨーク市のロック音楽と関係のある活動をよくしていました。

去年の夏、小野町で初めての英語サマースクールが好評だったため、今年も小学校で英会話を教えたり国際交流をしたりするために、3人の先生がアメリカから小野町へ来ることになりました。7月の下旬から8月の末まで小野町にいますので、みなさん、少しでも英語を使って、デービッド先生、フレドリック先生、スーザナ先生と話しをしてください。今月号では、3人の先生の自己紹介を掲載します。



デービッド先生の授業（昨年）

デービッド・マイヤーズ

私はデービッド・ピーター・マイヤーズです。アメリカのニュージャージー州の出身です。年齢は20歳で、ニュージャージー州にあるラトガース大学の1年生で、歴史と教育を勉強しています。私は子供たちと交流することが大好きで、子供たちの成長にかかわることを大切にしています。アメリカでサマーカーンプのインストラクターとして、7歳と8歳の子供を担当したこともあります。

趣味はたくさんあります。芸術に興味を持っていますし、新しいことに挑戦することも好きです。コンピュータデザインや洋服のデザインをよくします。どんなジャンルの映画や音楽も好きです。また、スポーツにも興味があります。バスケットボールやアメリカンフットボール、サッカー、武道などが好きです。ポウリングやビリヤードも好きです。

私は2年前に小野町に来たことがあります。その時は、大千里家と鈴木家にホームステイをして、とても素晴らしい時間を過ごすことができました。今年の夏、小野町へ行くことをとても楽しみにしています。

※紙面の関係上、今月の英文は割愛しました。